入学者選抜の方針と方法（１）

入試区分①

［総合型選抜］

本学を専願し、入学志願者が本学で学びたいという意欲を重視します。このために、学科試験を免除し、本学で教育を受けるために必要な「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」（以下「学力の３要素」という）を適切に評価するために、志望理由書、自己推薦書、面接、調査書および小論文により総合的に判定します。

［社会人選抜］

社会人としての職業経験をもち、かつ、看護学・理学療法学・作業療法学の修得に関する資質と能力を備え、学修意欲の旺盛な入学志願者を受け入れます。このために、学科試験を免除し、本学で教育を受けるために必要な学力の３要素を適切に評価するために、志望理由書、面接および小論文により総合的に判定します。

［学校推薦型選抜（公募制）］

本学を専願し、入学志願者の出身高等学校長の推薦を得る等の出願条件を満たす者に対し学科試験を免除し、本学で教育を受けるために必要な学力の３要素を適切に評価するために、志望理由書、面接、推薦書、調査書および小論文により総合的に判定します。

［学校推薦型選抜（指定校）］

本学を専願し、入学志願者の出身高等学校長の推薦、および本学が指定した全体の学習成績の状況値以上を満たす者に対し学科試験を免除し、本学で教育を受けるために必要な学力の３要素を適切に評価するために、志望理由書、面接、推薦書、調査書および小論文により総合的に判定します。

入試区分②

［一般選抜（前期）　A日程・B日程］

学力試験として『英語』（英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）と『国語』（現代の国語、言語文化（ただし、古文および漢文の出題はありません））を必須科目とし、『数学』（数学Ⅰ、数学A）および『生物』（生物基礎、生物）の中から１科目を選択する形式とし、調査書と併せて入学志願者の学修能力を総合的に判定します。

［大学入学共通テスト利用選抜］

大学入学共通テストの『英語』（英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、論理・表現Ⅰ）と『国語』（現代の国語、言語文化（近代以降の文章のみ））を必須科目とし、『数学Ⅰ、数学A』および『数学Ⅱ、数学B、数学C』ならびに『物理』、『化学』、『生物』および『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（物理基礎、化学基礎、生物基礎の３つの出題範囲から２つを選択）ならびに『情報Ⅰ』の中から１科目を選択する形式とし、調査書と併せて入学志願者の学修能力を総合的に判定します。

［一般選抜（後期Ⅰ・Ⅱ）］

多様な学生の募集と入学志願者の受験機会の確保を目的とし、面接、小論文および調査書により総合的に判定します。

入学者選抜の方針と方法（２）

学力の３要素と選抜方法との関連性

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）および学科の求める学生像に基づき、「学力の３要素」を以下のように総合的に評価します。

入試区分①

選抜方法	評価ツール ／ 学力の３要素	志望理由書	自己推薦書	推薦書	面接	調査書	小論文
総合型選抜	知識・技能	—	—		—	○	○
	思考力・判断力・表現力	○	○		○	—	○
	主体性・多様性・協働性	○	○		○	○	—
学校推薦型選抜	知識・技能	—		○	—	○	○
	思考力・判断力・表現力	○		○	○	—	○
	主体性・多様性・協働性	○		○	○	○	—
社会人選抜	知識・技能	—			—		○
	思考力・判断力・表現力	○			○		○
	主体性・多様性・協働性	○			○		—

入試区分②

選抜方法	評価ツール ／ 学力の３要素	学科試験	大学入学共通テスト	小論文	面接	調査書
一般選抜（前期）	知識・技能	○				○
	思考力・判断力・表現力	○				—
	主体性・多様性・協働性	—				○
大学入学共通テスト利用選抜	知識・技能		○			○
	思考力・判断力・表現力		○			—
	主体性・多様性・協働性		—			○
一般選抜（後期）	知識・技能			○	—	○
	思考力・判断力・表現力			○	○	—
	主体性・多様性・協働性			—	○	○